

一、會社側ハ直チニ謝知スルコト

、且其ニ職中ノコトナシ

交渉委員職務等三任職者職員ノ小山田君、坂本君、立倉ノ三法
遠木、吉渡、柳澤等知事會社側側ニリ言論、吉末、中村、藤田
ニ一計ノ火々々然ニ二十日午時同知事々照古里側等ニ會社側
電報職員等向ノ大家投票ニヨリ且ニ多量ノ一投票ノ由々々、職者

日手等知事會社側、中

謝知書並 謝知書 一冊

入選支店員 謝知書

昭和二年十月五日

財團法人協調會大阪支所

三、誠和會ノ解體ニ對シテ異議ナキコト

三、解雇處分ニ就テハ異議ヲ申出ヌコト

四、今後現業員ニ就テハ誘惑煽動又ハ示威的行動ヲ爲サザルコト

五、解雇者ハ同情金受領ノ上ハ自發的ニ當地ヲ引拂フコト

六、加印兩工場ハ解雇者ニ對シテハ金一封二萬三千圓ヲ交付スル

コト（一萬五千圓ハ會社ヨリ爭議團ニ、八千圓ハ調停者ニ委
任スルコト）

但シ右交付金ハ會社ノ領收書ニ調印シタル後渡スコト

間際ニ至リ爭議團交渉委員ハ右覺書ノ第五條ノ撤廢ヲ唱ヘタ處會
社側ハ「本社最高幹部ノ命」ト稱シテ讓ラズ兩者ノ態度頗ル強硬
テ事態再ビ紛糾カト危マレタガ調停者タル小山町長ガ日毛本社ニ
電話ヲ以テ第五條撤廢ヲ交渉シ調停者一任ノ返事ヲ得テ爭議團側
ノ主唱ガ通ツテ事ナク網マツテ午後七時終ニ調印ヲ終ツタ